

特別講義 (2単位)

根岸寛光・雨木若慶・河合義隆・小島弘昭・篠原弘亮・杉山信男・長島孝行・馬場 正・
 担当者氏名 本橋 強・森田茂紀・山口正己・石川 忠・西尾善太・丹羽克昌・乗越 亮・平野 繁・
 藤澤弘幸・峯 洋子

◆学習・教育目標

作物生産、植物保護、園芸生産、園芸機能などの農学に関係する学内外で開催される学会や研究機関のシンポジウム、ワークショップ、セミナー、講演会などから担当教員の指導に従い参加し、それぞれの分野の国内外の話題、最新の研究情報を聞き取り、整理し、また積極的に討論に加わることにより専門的、学際的、実践的知識を習得することを目指す。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

作物生産 植物保護 園芸生産 園芸機能
環境保全 資源利用 生命機能

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	学会等の開催に関する情報収集 (1)	所属する学会や関連学会の主催する大会や研究会等について、その開催時期・開催場所・テーマ等に関する情報を収集する。	自分自身が所属する学会やそれに関連する学会が主催する大会・研究会・ワークショップ等に参加し、最新かつ専門性の高い知識・技術等を把握するとともに、最終的には自らも口頭やポスターによる発表を行えるようにする。また学会だけでなく、大学や試験研究機関等が開催するシンポジウム等あるいは海外で開催される国際会議への積極的な参加も望ましい。
2	学会等の開催に関する情報収集 (2)	自ら収集した学会等の開催情報について指導教員との意見交換を行い、参加すべき研究会等の優先順位を検討する。	
3	大会・部会等への参加	自分自身の所属する学会の大会や部会等に出席し、	
4	(1)・(2)	自らの研究分野と関連の深い講演を聴講したりポスター発表等に参加することにより、最新の研究状況等を把握する。少なくとも2回の出席を義務づける。	
5	大会・部会等に関するレポート作成 (1)・(2)	大会や部会等で聴講した講演や視聴したポスター発表について、それぞれレポートを取りまとめて提出する。	
6			
7	研究会等への参加 (1)・	自分自身の研究と関連の深いテーマをもつ研究会の主催するシンポジウム等に出席し、より専門性の高い新たな知識・技術の習得に努める。関連する研究会等の主催するシンポジウムやワークショップについては、少なくとも3つ以上を選択すること。	
8	(2)・(3)		
9			
10	研究会等に関するレポート作成 (1)・(2)・(3)	参加した研究会で得られた知識・技術等についてそれぞれレポートを作成し、自分自身の研究への応用の可能性について検討する。	
11			
12			
13	大学や試験研究機関の主催するシンポジウム等への参加およびレポート作成 (1)・(2)・(3)	大学や試験研究機関等が主催する複数のシンポジウム等に参加しレポートを作成する。また指導教員と相談し、海外で開催される関連学会等に参加することも考慮する。	
14			
15			

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

_____ / _____ / _____ (_____)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

_____ / _____ / _____ (_____)

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

レポートで評価する

◆オフィスアワー

各授業担当教員の授業実施後の1時間

◆その他受講上の注意事項

各指導教員の関係する所属学会の発行する学会誌やニュースレター等から、大会や関連するシンポジウム・ワークショップ等の開催状況を把握し、興味のある分野や知っておくべき内容に関する会合の開催について常に最新の情報を入手するよう注意する。
